

神経科精神科臨床研修プログラム

1. 目標

包括目標(Goal)

1. 精神疾患併存患者、もしくは精神症状を有する患者に適切に対応ができるようになる。
2. 精神科に必要な基本的臨床能力（態度、技能、知識）を身に付ける。

個別目標 (Objectives)

1. 基本的な精神症状の捉え方を理解する。
2. 精神症状を有する疾患の鑑別が可能になる。
3. 意識障害に対する鑑別や治療について理解する。
4. 入院形態や入院処遇の理解を深め、精神障害者の人権を理解する。
5. 活用可能な社会福祉資源を理解する。
6. 認知機能低下を有する患者への症状の捉え方や鑑別を理解し、治療について理解する。
7. 不眠や不安、せん妄などの一般臨床で診る症状について、鑑別や薬剤調整について理解をする。
8. 依存症（ギャンブル、アルコール、向精神薬等）について正しい理解を身につける。

2. 方略

1. 研修期間は最低1ヶ月とする。
2. 病棟での診療やカンファレンスに参加することで、精神科臨床一般の理解を深める。
3. 新患の予診を行なった上で、指導医の診療に陪席する。
4. 週に一度行われているリエゾン・緩和チームカンファレンスへの参加やリエゾン診察の見学を行い、理解を深める。
5. 精神療法や薬物療法について講義に参加して基本的な精神科臨床への理解を深める。
6. 教授回診に参加し、プレゼンテーションを行う。
7. 毎朝行われている行動制限カンファレンスに参加し、精神障害者の人権について理解する。
8. 病歴や診察、検査結果から、鑑別診断をあげ、診療計画立案、治療法について修得する。

神経科精神科臨床研修プログラム

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
集合時間	8:30	8:30	8:30	8:30	8:30
場所	精神科医局	精神科医局	精神科医局	精神科医局	精神科医局
午前	外来陪席	入退院カンファレンス	外来陪席	外来陪席	外来陪席
	病棟処置	教授回診	病棟処置	病棟処置	病棟処置
	リエゾン・緩和チームカンファレンス				
午後	病棟処置	症例検討会	病棟処置	病棟処置	病棟処置
	グループカンファレンス		講義	講義	

リエゾンチームが他科病棟で対応している依存患者の診察に参加し、依存症についての学習をする。

病棟：

医局：

3. 評価

1. EPOC 2 で評価（形成的評価）
2. 講義を行い日常のカルテから理解度の確認
3. 研修医や指導医の意見を聞き、研修プログラムの検討を行なう。

4. 指導医（指導医養成講習会を受講した医師）敬称略

・鹿児島大学病院在籍

中村雅之、春日井基文、肝付 洋、新井 薫、塩川奈理、石塚貴周、佐々木なつき、瀬戸下玄郎、浦田結嘉、崎元仁志